

2024 年度 卒業式式辞

2025年3月25・26日

田中 愛治

卒業生の皆さん、ご家族・ご親族の皆様、ご卒業おめでとうございます。卒業される皆さんはもちろん、これまで卒業生を支えてこられたご家族・ご親族の皆様も、たいへんお喜びのことと存じます。本日は、早稲田大学を代表して、私からお祝いの言葉を申し述べたいと思います。

本来であれば、卒業生の皆さんだけでなく、ご家族の方にもご参加いただきたいのですが、この戸山キャンパスにあります早稲田アリーナに多くの参列者の方が集まりますと、周辺の道路が大変に混雑し、歩行者の皆さんを交通事故に巻き込む恐れもありますので、近年は卒業生の方たちだけに早稲田アリーナに来ていただき、ご家族や保護者の方、ご友人には早稲田キャンパスの教室などで卒業式の模様をオンラインでご覧いただいております。その点では、保護者ならびにご親族の方たちには申し訳ないと感じております。とはいえ、本日、皆さんがコロナ・パンデミックを乗り越えて、無事に勉学を修めて卒業することを、私たち教職員はたいへん誇らしく、嬉しく思っています。

今年の学部を卒業される方たちの多くは2021年に入学され、修士課程を修了される方の多くは2023年に入学され、博士号を受領される方たちはそれ以前に入学されたことと思います。皆さんの学生生活は、やはり新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたであろうと推測しています。

その意味では、様々な点で勉学と学習も、学生生活も大きな制約を受けたであろうと思います。しかし、早稲田の学生の皆さんは全員がよく自制をしてくださり、その当時の数年間、学内で大規模クラスターを発生させたことはありませんでした。その点で、皆さんの誠実な行動とご協力に心から感謝しています。

このような経験を経て、本日皆さんが早稲田大学を卒業されるということは、皆さんの努力が実ったということです。皆さんは早稲田で学んだことに自信をもって社会に出て、もしくは大学院に進学して、新たな道を切り拓らいて、進んでください。今後は、皆さんはこれまで経験をしたことがないような世界に入っていくことになると思います。皆さんは大きな期待と同時に若干の不安も感じているかもしれません。でも、それで良いのです。皆さんは、ご自身に忠実にありのままの姿で人生を切り拓いてくだされば、良いのです。

今日、人類が直面している問題の多くには、正解がありません。たとえば、コロナ・パンデミックへの対策には、これが正解と証明されているものはありませんでした。同様に、地球の温暖化による気候変動への対策も、また世界各地で起きている戦争・紛争・武力侵攻によって多くの人々が命を落とし、人権侵害が続いている状態など、どの問題も正解が定まっていない大きな問題です。

皆さんが社会に出て向き合う問題の多くは、このように正解が教科書や専門書に記されていない場合が多いと思います。武力による人々への人権侵害やコロナ・パンデミックなど、いま私が例に挙げた、人類全体が直面している問題ほどには大きくはないとしても、皆さんが今後人生で向き合う問題には正解のないものばかりでしょう。

しかし、皆さんは早稲田で、答えのない問題の解決策を自分の頭で考えるということを学んできたと思

います。ですから、多少の不安はあっても、ご自身の可能性を信じて、ご自身の希望をかなえるという期待をもって、卒業してってください。

私は6年半前に早稲田の総長に就任した時以来、早稲田の学生には「たくましい知性」と「しなやかな感性」を育んでもらいたいと言ってきました。

「たくましい知性」とは、答えが決まっていない未知の問題に果敢に挑戦して、自分の頭で自分なりの解決策を考え出す知性、そして自分の考えた解決策が有効ではないとわかった時に、めげずに新しい解決策を考えて、再挑戦をするたくましさを持った知性のことです。

私は、皆さんが早稲田で「たくましい知性」を育み、「自分の頭で考える」ことを身につけたと信じています。なぜなら、それが早稲田の伝統であり、学生文化の特徴だからです。

ただし、「自分の頭で考える」ためには、やはり学問が重要なのです。学問とは、文字が発明されて以来、5千年にわたる人類の経験のエッセンスが体系的にまとめられたものです。もちろん、過去に人類が経験したことのない未知の問題の解決方法は、学問には記されていません。しかし、学問をひもとけば、過去に人類がどのように、未知の問題に挑戦したのかを、学ぶことができます。したがって、皆さんが未知の問題に挑戦する際には、早稲田で修めた学問が座標軸となり、今後の人生の道標（みちしるべ）となっていくはずです。

もう一つの「しなやかな感性」とは何を意味しているのでしょうか。それは、異なる国籍・エスニシティ・言語・宗教・文化・信条・性別・性的指向を持つ人々に対して、敬意をもって接することができる感性のことです。そうした利他の精神を身につけることで、「しなやかな感性」は涵養されます。とくにコロナ・パンデミックや戦争状況の中では、国や民族の違い、あるいは経済的な格差により、弱い立場の人々がいっそう苦しむことになったと思います。コロナ・パンデミックを通して、そのことを肌で感じる経験をした皆さんは、より一層「しなやかな感性」を育むことができたと思います。

さらに、私が2022年に加えた3番目の理念は「ひびきあう理性」です。この理念は、自分と異なる考えを持つ人の意見にも耳を傾け、対話を通して互いに高めあうことを奨励しています。特に、早稲田という研究大学で学んだ皆さんは、ご自身の知性に自信を持つと同時に、他の人の理性にも敬意を表してもらいたいと願っています。

私は、皆さんには早稲田大学で学んだ「たくましい知性」「しなやかな感性」「ひびき合う理性」の大切さを心に刻み、今後の人生に生かしていただきたいと願っています。皆さんが、その考え方を貫いて、社会に出て仕事をしていけば、世界は、人類社会は、もっと平和で、もっと公平で、もっと良くなるだろうと思います。この考え方は、早稲田大学の建学の精神につながっています。

早稲田大学の創立者、大隈重信は当時の学生諸君に向かって、建学の精神として三つの理念を提唱しています。それが「学問の独立」「学問の活用」「模範国民の造就」で、この三つの理念を「早稲田大学教旨」と述べています。その最後の「模範国民の造就」を、大隈は最も大切だと考えていて、その意義を「一身一家一国のためのみならず、進んで世界に貢献する抱負が無くてはならぬ」と説いています。すなわち、早稲田の建学の精神は「世界人類に貢献する人材を育成すること」であります。そのためには教育が必要ですが、その教育は学問を基礎としていなくてはならないと考え、「学問の活用」を重視しました。さらに、世界人類に貢献する学生を教育するには、その教育の基礎となる学問は、権力や金力や名誉欲におもねることなく真理を追究することが必要なので、「学問の独立」が重要と述べたのです。

現在、早稲田大学が目指しているのは、「世界人類に貢献する人材の育成」であり、すなわちグローバ

ルリーダーを生み出す大学になるということです。しかし、早稲田が考えるグローバルリーダーとは、必ずしも国際連合などの国際機関や国際的な企業で働くことばかりではありません。我々が早稲田で考えるグローバルリーダーのイメージとは、世界の何処にいても、どのような小さな村や町にしようと、どんなに小さいNPOや企業や自治体で仕事をしよう、その卒業生が常に世界人類のためと思って仕事をしていれば、その人はグローバルリーダーなのだということです。皆さんも、是非ともその意味で、グローバルリーダーとして活躍してください。

最後に二つお伝えしたいことがあります。一つは、皆さんが学生時代に使ってきたMy Wasedaのメールアドレスを卒業後も早稲田と連絡がつくように、ずっとキープしてください。ご自身が将来転職しても、世界中どこに住んでも、ずっと使おうと考えているプライベート・アドレスに、My Wasedaのメールアドレスを自動転送する設定をしてください。そうして、皆さんが、将来、リカレント教育、リスキリング教育を受けたいと思ったときに、早稲田はきっと皆さんが求めている教育を提供できると思います。その時にも、My Wasedaのメールアドレスが役に立ちます。ぜひとも、母校である早稲田大学と一生つながってってください。

最後の最後に、私がお伝えしたいことは、皆さんは卒業して社会に出たら、ご自身がやりたいと思う、遣り甲斐があると感じることに力を入れてください。目先の出世とか、損得を考えて、ご自身が興味ないことをやっても、皆さんの力は80パーセントしか出ません。ご自身が面白い、遣り甲斐があると感じることなら、皆さんの力は120パーセントになります。どの時代でも、どの社会でも、120パーセントの力で仕事をする人は、80パーセントで仕事をしている人よりも成功する確率は高いのです。私はこのことを、私のゼミ生が卒業する時に言って来ましたが、今は総長としてすべての早稲田の卒業生にお贈りしたいと思います。

皆さんは、早稲田で学んだことに自信を持ち、コロナ・パンデミックの中で苦しい学生生活をやりきったことを誇りとして、今後の人生を切り開いてください。

卒業後も、時々は母校に帰ってきてください。その時には、今よりも輝いている早稲田で、今よりも輝いている皆さんとお会いしましょう。

To those graduating students who are still learning Japanese, I want to congratulate you briefly in English.

You should be proud of what you have learned at Waseda, as well as trust in your intelligence and ability. With your education, intelligence and ability, may you contribute to human kind as you make your way through the world.

Congratulations on your graduation!

卒業生諸君、本日は、ご卒業、本当におめでとう！